

【機2】

【テーマ2】 施工に当たっての安全確保の徹底について（現場における事例）

・今年度発生した事例、ヒヤリハットを確認した事例

1 現場での改善事項

- ① えん堤のコンクリート打設時に渡し足場を設置する際、番線等で固定されていないケースが見られた。
現場従業員の安全を確保する上で、墜落・転落防止の措置を徹底する必要がある。
- ② 足場において、道具等の落下防止措置となっている幅木が設置されていない。
- ③ 手袋等、保護具の着用がされていないケースが見られた。
- ④ 重機からの転落防止措置の不備（シートベルト未着用）が見受けられるケースが見られた。

2 現場周辺の改善事項

- ① 工事車両どおしのクラクションによる合図に子供がびっくりしてスープをこぼしたという苦情を受けたケースがあった。
- ② 車両の通行で民家の塀を壊したケースがあった。

3 ヒヤリハット事例

- ① 重機チャーターが完了し、林道を自走で下山途中、大きな落盤が発生して道をふさぐような状態を発見した。
通過のタイミングがずれていれば、大きな事故となっていた。
- ② 法枠施工予定箇所を踏査中、足を滑らせて滑落しそうになった。
- ③ 林道でトラックの切り返し（Uターン）をする場合が多々あるが、路肩の緩み等により転落災害の恐れがあるため、誘導員等を確実に配置するなど、事故防止に努める必要がある事例が見られた。
- ④ 現場周辺で山火事（ボヤ）が続けて発生し、火の気のないところから出火しており、工事関係者へタバコのポイ捨てをしないよう各現場へ指導している。（役場からの注意喚起を受けた。）
- ⑤ 重機が資材運搬路を走行していたところ、前方で法面が一部崩落した。